

平成26年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT26148

【プログラム名】磯の生物を採集し受精発生のしくみを探る



開催日：平成26年8月24日(日)

実施機関：名古屋大学
(実施場所) (大学院理学研究科
附属臨海実験所)

実施代表者：澤田 均
(所属・職名) (大学院理学研究科附属臨海
実験所・所長/教授)

受講生：小学生6名、中学生4名、
高校生1名

関連URL：<http://www.bio.nagoya-u.ac.jp/~SugashimaMBL/index>

【実施内容】

【工夫した点】

(1)当初、8月10日(日)に開催する予定であったが、台風11号の接近に伴い、日程を8月24日(日)に変更した。臨海実験所前での磯採集という企画のため大潮の日が望ましいことに加えて保護者の参加しやすさを考慮し、8月24日(日)を設定した。(2)名古屋から臨海実験所のある鳥羽までの交通の利便性を考えて、バスをチャーターした。また、子供達が飽きないように、バスの中で海洋生物に関するクイズを出すといった工夫も行った。また、名古屋大学の紹介用DVDも流した。実習では、磯採集を通して海洋生物の生態と分類についても講義も行い理解を深めた。また、海洋生物に対する興味をもってもらい工夫を行った。

【当日のスケジュール】

7:15-7:30 受付、名古屋大学(名古屋市千種区不老町)豊田講堂前集合(バスの場合)→9:45-10:00 受付、三重県鳥羽市の近鉄「鳥羽」駅前集合(電車の場合)→10:30チャーター船にて臨海実験所へ→11:00名古屋大学大学院理学研究科附属臨海実験所到着→11:00-11:15開講式(あいさつ、科研費の説明、ならびに実習概要の説明)→11:15-12:30磯採集(海洋生物の調査と生態分類学実習)→12:30-13:30昼食(交流会)13:30-14:20実習(採集生物の解説と観察)→休憩→14:30-15:45実習(ホヤの受精と各発生ステージの観察)、後片付け→15:45-16:15終了式(交流会、アンケート記入、未来博士号授与)→16:15名古屋大学大学院理学研究科附属臨海実験所出発→16:30近鉄「鳥羽」駅前到着、終了・解散(名大行きバスに乗る人は乗車)→19:45名古屋大学到着、終了・解散。帰りは渋滞にあい当初予定していた時刻より遅くなったが、無事終了した。

【実施の様子】

当日は曇天であったが、磯採集中は雨が降らなかったので、磯採集に適していた。(左写真)の左側ピンクの衣装の女性が白江特任助教で、(中央写真)の左側の男性は福岡技術職員である。参加者は実験所前の磯場で動物を採集し、生態分類の説明を受けた。昼食後、実験室でホヤの受精発生観察を行った。最後に修了証書が澤田から授与された(右写真)。



【事務局との協力体制】

企画や保険等について事務局との連絡を密に取って行った。

【広報体制】

当初、新聞広告を考えていたが、インターネットからの申込が非常に早く、新聞広告を出す前に定員になったため、新聞広告は出さなかった。台風のため日程変更となったが、再度募集は行わず、8月10日参加希望者の中から24日でも参加できる学生と保護者に焦点をあてて催行した。

【安全体制】

実習生の安全に関しては万全を期した。特に、磯採集に関しては怪我しないように細心の注意を払い、無事実習を終えることができた。

【今後の発展性課題】

研究内容を小中学生に理解させるのは難しい。むしろ、小中学生には、海岸で動植物がどのように棲息しているのかを自分の目でみて、触って体験することが重要であると考えられる。一方、高校生には研究のおもしろみを理解して欲しい。その意味で、2グループに分けて実習することを今後検討したい。

【実施分担者】

| | |
|-------|----------|
| 白江 麻貴 | 理学部・特任助教 |
| 伊勢 優史 | 理学部・特任助教 |
| 中澤 志織 | 理学部・特任助教 |
| 砂川 昌彦 | 理学部・技術職員 |
| 福岡 雅史 | 理学部・技術職員 |

【実施協力者】 5名

【事務担当者】

研究協力部研究支援課 外部資金掛長 前川宏司